

第 1 講

古代①

Handwriting practice area consisting of 25 horizontal dashed lines.

問題②俯瞰力

世界には皇帝、国王、カリフ、スルタン、シャーなど様々な君主の称号が存在する。称号に関する下記の文から間違っているものを一つ選びなさい。

- ① 皇帝とは、国王の上位に位置する称号であり、歴史上ではローマ帝国、ビザンツ帝国や中国が使用した。
- ② カリフとは、ムハンマドの後継者を指し、正統カリフ時代は選挙制、ウマイヤ朝時代から世襲制となった。
- ③ スルタンとは、セルジューク朝の君主が1055年、バグダード入城の際にカリフから与えられた称号であり、イスラーム世界の宗教的権威を持つ。
- ④ イランでは伝統的なシャーの称号が用いられたことがあり、20世紀ではパフレヴィー朝などがシャーを使用した。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

まとめポイント

古代① 「1」 皇帝, 国王, カリフなどの称号

- ① 皇帝の称号は、中国では秦の**始皇帝**から始まった。宋の時代以降に皇帝権が強化されると皇帝の神秘化は一層進んだ。
- ② 中国では、皇帝しか使えない色や龍の文様などがある。
- ③ カリフは当初、**選挙制**であったが、ウマイヤ朝時代から**世襲制**となった。さらに11世紀には3人のカリフが鼎立する混乱期となった。
- ④ **スルタン**とはイスラーム世界の行政官を指し、宗教的な権威は保有しない。
- ⑤ スルタンの称号を用いたのはトルコ系の**セルジューク朝**である。
- ⑥ シャーとはイラン(ペルシャ)の伝統的な称号であり、アケメネス朝や20世紀のパフレヴィー朝の君主などが用いた。

「2」後1～2世紀の東アジア世界

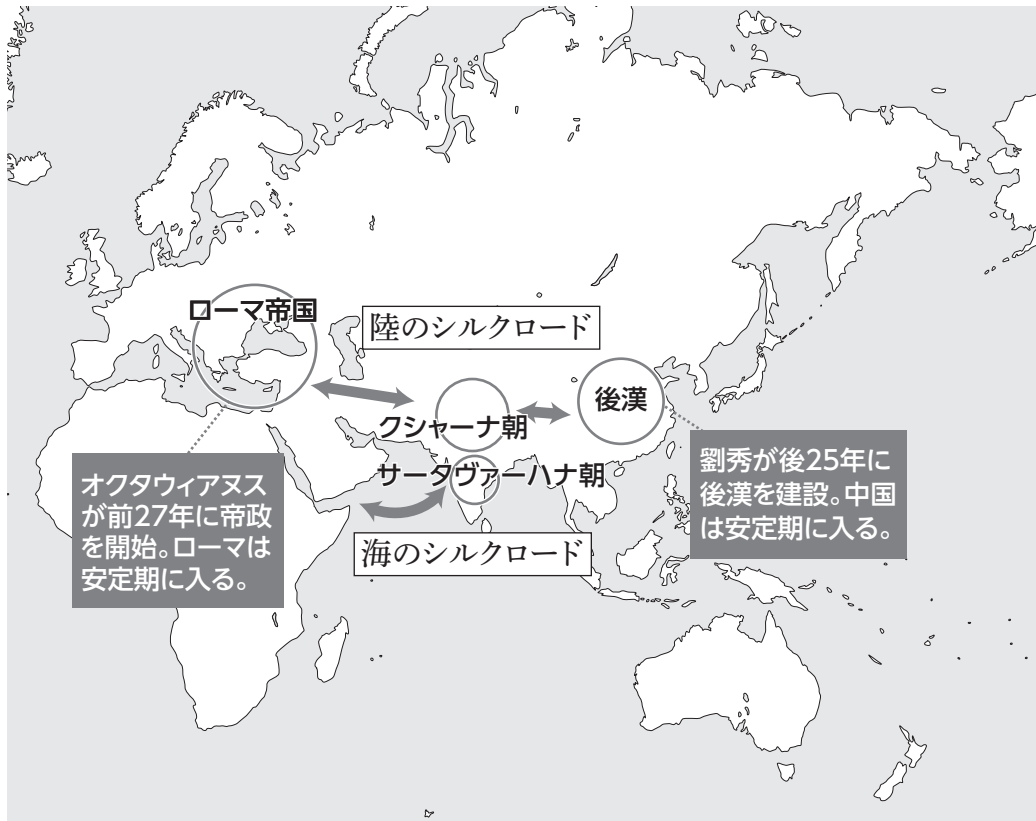
2014年以降、中国の習近平政権は「一帯一路」を世界各国に向けてアピールし始めた。

「一帯」とは陸のシルクロードを指し、「一路」とは海のシルクロードを指す。つまり中国とヨーロッパを、陸路と海路で結ぶ壮大な経済圏構想である。

下記の地図は後1～2世紀のユーラシア大陸である。

中国には後漢、ヨーロッパにはローマ帝国という安定政権が存在しており、この二つを結んで陸路の中間にクシャーナ朝、海路の中間にサータヴァーハナ朝が繁栄し、巨大な交易ネットワークが誕生していた。つまり「一帯一路」は過去すでに存在していたことがわかる。

この地図を参考にして、以下の設問に答えなさい。



問題①探求力

陸路の中継点に位置したクシャーナ朝は、どのような性格の王朝であったと考えられるか。下の文から最も不適切なものを一つ選びなさい。

- ① 外国商人の交易は自由であったが、領内への立ち入りには許可が必要であった。
- ② 人種を超えた万人の救済を訴える大乘仏教が発展した。
- ③ ギリシア式の仏像彫刻である国際的なガンダーラ美術が誕生した。
- ④ 商業の発展に伴い、貨幣経済が進展して、金貨なども発行された。

Handwriting practice area consisting of 30 horizontal dashed lines.

問題②俯瞰力

ローマ帝国で帝政を開始したオクタウィアヌスと、赤眉の乱の混乱を収めて後漢を建設した劉秀は、同時代人であった。そのためこの2人には、その功績をたたえた皇帝名が付けられている。2人の皇帝名の組み合わせとして適切なものを一つ選びなさい。

- | | | |
|---|----------------|--------|
| ① | ローマ帝国ーアウグストゥス | 後漢ー光武帝 |
| ② | ローマ帝国ーアウグスティヌス | 後漢ー光武帝 |
| ③ | ローマ帝国ーアウグストゥス | 後漢ー武帝 |
| ④ | ローマ帝国ーアウグスティヌス | 後漢ー武帝 |

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

まとめポイント

古代① 「2」後1～2世紀の東アジア世界

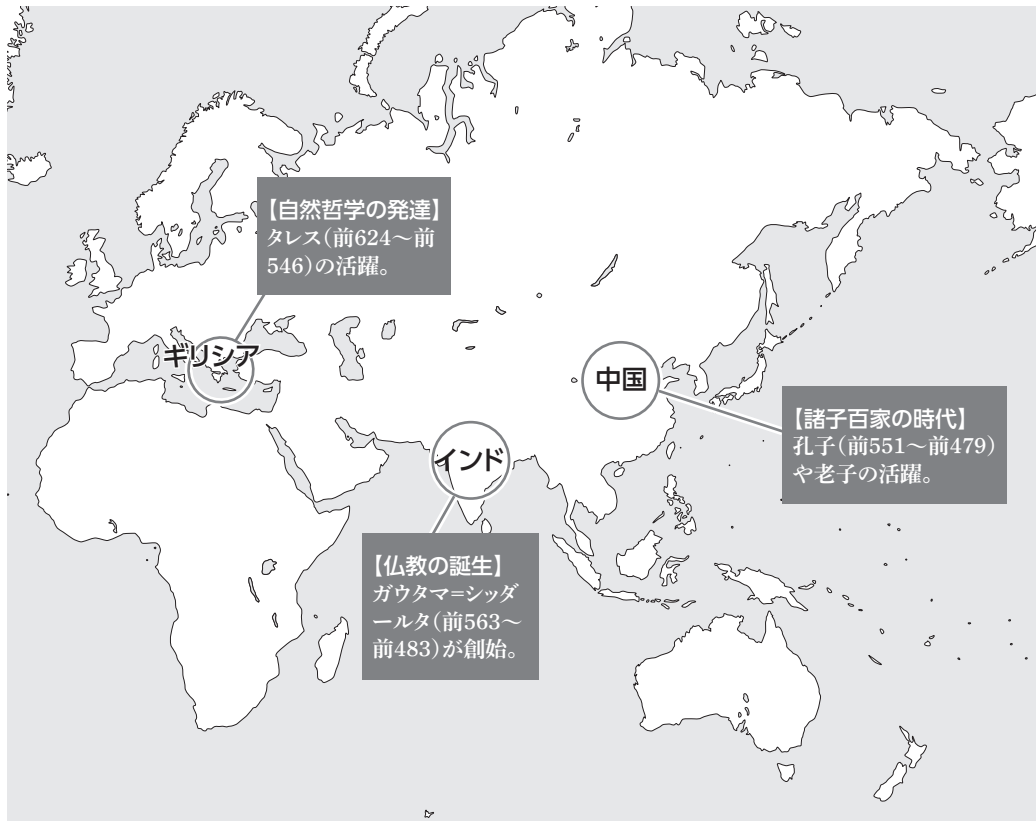
- ① イラン系のクシャーナ朝はプルシャプラに都を置き、国際交易で繁栄した。
- ② クシャーナ朝は国際的性格のため、ガンダーラ美術(様式)や大乘仏教が発展した。
- ③ デカン高原のサータヴァーハナ朝は、海上交易で栄え、ローマの金貨などが発見されている。
- ④ ローマではオクタウィアヌスが前27年に帝政を開始し、元老院から「尊厳者」を意味するアウグストゥスの称号が与えられた。
- ⑤ 中国では、前漢の劉邦の流れをくむ豪族の劉秀が後漢を建設して、光武帝のおくり名が与えられた。

「3」世界の宗教・思想の誕生

紀元前6世紀は偶然にも世界で様々な宗教・思想が同時に誕生している。ドイツの思想家ヤスパースはこの時代の特殊性に着目して、宗教・思想的な「枢軸の時代」と呼んだ。しかしこの頃誕生した各地域の宗教・思想にはある違いがみられ、それが後の文明の方向性に影響を与えているのがわかる。

下記の地図は紀元前6世紀に誕生したとされる世界の諸宗教・諸思想を示してある。

この地図を参考に設問に答えなさい。



問題①探求力

紀元前6～5世紀頃に誕生した世界の諸宗教・諸思想に関する以下の文で、最も不適切なものを一つ選びなさい。

- ① 老子・荘子に代表される中国の道家は、自然と調和を説く無為自然を唱えた。
- ② 孔子に代表される中国の儒家は、他者への親愛の情である仁の思想を説いた。
- ③ ガウタマ=シッダールタが開いたインドの仏教では輪廻からの解脱を説いた。
- ④ ギリシア世界のイオニア地方では、ミレトスが「万物の根源を数」と考えた。

Handwriting practice area consisting of 30 horizontal dashed lines.

問題②俯瞰力

12ページの地図にある各地域の宗教・思想を分析すると、中国の儒家・道家は「いかに生きるのか」を考察する現実的な性格であり、インドの仏教は現実の向こうにある世界に関心があることがうかがえる。これに対しギリシアのみは宇宙や物質の成り立ちに関心があることがわかる。

これを参考に下の図表に入る語句A～Cの正しい組み合わせを選びなさい。

	性格	代表的な思想家など
ギリシアー世界	(A)	自然哲学者
中国ー世界	(B)	諸子百家
インドー世界	(C)	仏教

- ① Aー適合 Bー直視 Cー超脱
- ② Aー直視 Bー適合 Cー超脱
- ③ Aー超脱 Bー適合 Cー直視
- ④ Aー超脱 Bー直視 Cー適合

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

まとめポイント

古代① 「3」世界の宗教・思想の誕生

- ① 中国の思想家集団は**諸子百家**とよばれ、**礼と仁(他者への親愛の情)**を説いた孔子の儒家と、**無為自然**を説いた老子や荘子など道家が代表である。
- ② インドでは前6世紀頃に**ガウタマ=シッダールタ**が創始した仏教と、**ヴァルダマーナ**が創始したジャイナ教が誕生して、ヴァルナ制を強く非難した。
- ③ ギリシアでは自然哲学がおこり、万物の根源を水とした**タレス**、数とした**ピタゴラス**、原子(アトム)とした**デモクリトス**が活躍した。
- ④ 前6世紀に西アジアではヘブライ人による一神教のユダヤ教が誕生した。

A series of 30 horizontal dashed lines for writing.